天寿国繡帳とはなにか

天寿国とはどこかという問題について、古くからさまざまな説がありますが次の2つが有力とされます。

1）弥勒浄土（釈迦の次にこの世に現われて人々を救う弥勒菩薩のいるところ）

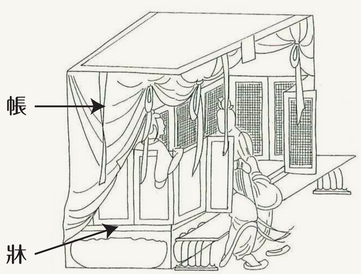
2）阿弥陀浄土（阿弥陀如来のいる西方極楽浄土）

鎌倉時代の『太子曼荼羅講式』（作品20）には天寿国は阿弥陀の世界、と記されています。最近の研究では、繡帳に残る建物が弥勒菩薩のいる兜率天の宮殿で、繡帳全体で弥勒浄土を表す、という説もあります。

繡帳とは?

繡は縫い物のこと。帳は「とばり」で今のカーテンのこと。古代の中国や朝鮮半島には、寝台や腰かけとカーテンを組み合わせた「牀帳」と呼ばれるものがあります。

安岳3号墳壁画の牀帳（高句麗）

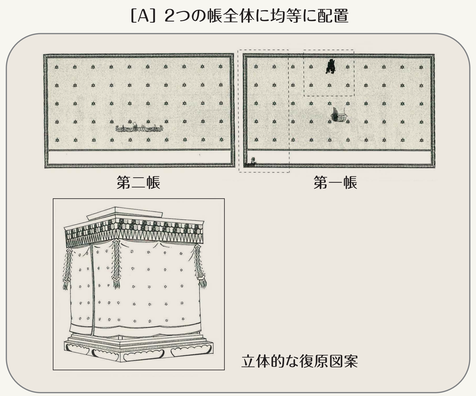


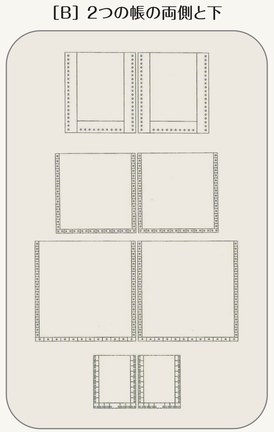
女史箴図の牀帳（中国）

武定元年（543）銘碑像の牀帳（中国）

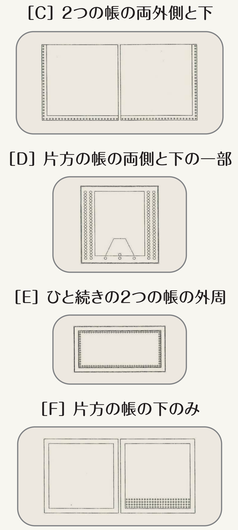
100個の亀甲銘文はどのように配置されていた?

甲に4つずつ文字のある亀は全部で100個ありました。亀の配置にはさまざまな復原案がありますが、帳全体に散りばめた案が近年示されています。

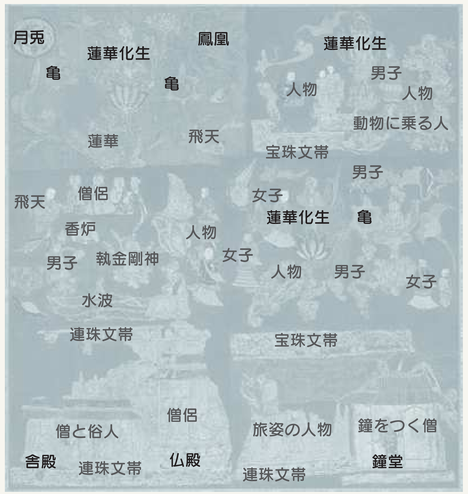




図中の○が亀甲銘文1つ分



天寿国繡帳に描かれているもの



Where is the Tenjukoku Heaven?

There have been various theories regarding what the "Tenjukoku" of the *Tenjukoku Embroidery* represented, but the two most prevalent ones posit that it is either:

1) Tushita Heaven, where Maitreya, the bodhisattva who is slated to save the world in the future as the next buddha, currently resides; or
2) The Pure Land of Amitabha, a paradise located in the west where Amitabha Buddha resides.

The latter theory has appeared in Kamakura-period records, but more recent research proposes that the structure on the embroidery is actually Maitreya's palace, thus speculating that the work depicts Tushita Heaven.

何谓天寿国绣帐?

关于天寿国的位置，自古众说纷纭，其中以下两种说法最为可信。

1.弥勒净土，即弥勒菩萨的世界。弥勒是释迦牟尼佛的未来佛。

2.阿弥陀净土，即阿弥陀如来佛所在的西方极乐净土。

镰仓时代的《太子曼荼罗讲式（作品20）》中记载，天寿国指的是阿弥陀的世界。但是在最近的研究中，有人提出绣帐上的建筑是弥勒菩萨所住的兜率天的宫殿，以整个绣帐表现了弥勒净土。

천수국이란 어떤 곳일까요?

천수국 수장(작품 4)이란, 페널 왼쪽 하단의 그림처럼 커튼으로 쓰였던 천에 천수국의 모습을 자수로 표현한 것입니다. 천수국에 대해서는 예부터 다양한 학설이 있으나, 다음 2가지가 유력해 보입니다.

1)미륵정토(석가모니 다음으로 지상계에 내려와 사람들을 구제하는 미륵보살이 있는 곳)

2)아미타정토(아미타여래가 있는 서방 극락정토)

가마쿠라시대에 지어진『태자만다라강식(작품 20) 』에 의하면, '천수국은 아미타의 세계'라 되어 있습니다. 최근 연구에서는 수장에 표현된 건물은 미륵보살이 있는 도솔천의 궁전으로, 수장 전체가 미륵정토를 나타낸다는 학설도 있습니다.

※図はすべて大橋一章『天寿国繡帳の研究』1995より一部改変して引用